

第9回久喜市総合振興計画審議会 会議録

発言者	会議のてん末・概要
1 開会	
折原参事兼企画政策課長	<p>皆様、こんにちは。本日はご多用の中ご出席いただきありがとうございます。ただ今から、第9回久喜市総合振興計画審議会を開会させていただきます。</p> <p>まず、開会に先立ちまして、事務局よりご報告がございます。</p> <p>委員の一人であります岩崎委員でございますが、令和4年6月30日付けで農業委員を退任されたことから辞職したい旨のご連絡がありました。これを受けまして、協議の結果、岩崎様の任期を令和4年6月30日までとするとともに、同じく久喜市農業委員会様から、長谷川様が本審議会委員となりました。</p> <p>なお、本日、長谷川様は所用により欠席とのご連絡をいただいております。</p> <p>それでは、会議に移らせていただきます。</p> <p>はじめに、現在の出席委員についてご報告いたします。本日は、委員19名中、11名出席となっており、過半数に達しておりますので、久喜市総合振興計画審議会条例第7条第2項の規定により、本会議が成立いたしますことを、ご報告させていただきます。</p> <p>(柿沼委員 入室)</p> <p>次に、議題に先立ち、皆様にご了承をいただきたい点が2点ございます。まず、会議録の作成のため、会議の様子を録音させていただきます。2点目、本会議は、久喜市審議会等の会議の公開に関する条例第3条に基づき公開となりますことから、傍聴を希望される方がいる場合には、受け入れるものでございます。</p> <p>続きまして、配布資料の確認をさせていただきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第9回久喜市総合振興計画審議会 次第 ・報告資料1 市民意見随時募集結果報告（第8回審議会会議資料分） ・資料1 第2次久喜市総合振興計画（素案） ・資料2 第2次久喜市総合振興計画 実施計画（試行版・令和4～6年度）（案） <p>参考資料といたしまして、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2次久喜市総合振興計画（素案）修正箇所一覧表 <p>以上、次第を含めまして、5点でございますが、不足はありませんでしょうか。</p>

2 会長あいさつ

折原参事兼企画政策課長	<p>それでは、続きまして、石上会長からご挨拶を頂戴したいと思います。 石上会長、よろしくお願いいたします。</p>
石上会長	<p>皆様、こんにちは。本日は、第9回目を数えますが、大変ご多忙のところ、また暑い中お集まりいただきありがとうございます。</p> <p>さて、前回の会議では、総合振興計画の素案をご確認いただきました。また、将来像についても、皆様からのご投票をいただき、第1候補案を決めたところでございます。</p> <p>本日は、その将来像も含め、これまでの協議・審議を踏まえてのおさらいとして、前回に引き続き総合振興計画の素案が示されておりますので、改めてのご確認をお願いしたいと思います。</p> <p>また、基本計画の下に位置づけられております、実施計画についても、試行版ではございますが、お示しさせていただいておりますので、事務局からの説明を踏まえまして、十分にご審議いただければと思います。</p> <p>忌憚のないご意見・ご提案をいただきたいと思っておりますので、皆様方のご協力のほど、よろしくお願いいたします。</p>
折原参事兼企画政策課長	<p>石上会長、ありがとうございました。</p> <p>次に、会議録に署名をいただく委員の確認をお願いいたします。</p>
石上会長	<p>今回の会議録の署名委員ですが、私の他にもう1人の委員の署名が必要となります。今回も名簿順ですと、高田委員をお願いをしたいと思っております。よろしいですか。</p>
高田委員	<p>(了 承)</p>
折原参事兼企画政策課長	<p>ありがとうございます。高田委員には、会議録のご確認と署名をよろしくお願いいたします。</p>
折原参事兼企画政策課長	<p>それでは、議事に移らせていただきます。</p> <p>会議の進行につきましては、久喜市総合振興計画審議会条例第7条の規定に基づきまして、会長に議事の進行をお願いいたします。</p> <p>それでは、よろしくお願いいたします。</p>

3 報告事項 市民意見随時募集結果報告（第8回審議会会議資料分）について

石上会長	<p>それでは、しばらくの間、議事進行を務めさせていただきます。</p> <p>はじめに、報告事項の「市民意見随時募集結果報告（第8回審議会会議資料分）について」、事務局から説明をお願いします。</p>
------	---

目黒課長補佐	<p>下記資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告資料1 市民意見随時募集結果報告（第6回審議会会議資料分）
石上会長	<p>ただ今、事務局から「市民意見随時募集結果報告（第8回審議会会議資料分）について」説明がありました。</p> <p>ご質問、ご意見等はございますか。</p> <p>（意見・質問なし）</p> <p>それでは、「市民意見随時募集結果報告（第8回審議会会議資料分）について」は以上となります。</p>

4 議題 第2次久喜市総合振興計画（素案）について

石上会長	<p>続いて、議題の「第2次久喜市総合振興計画（素案）について」でございます。</p> <p>内容について、事務局から説明をお願いします。</p>
目黒課長補佐	<p>下記資料に基づき説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料1 第2次久喜市総合振興計画（素案） ・資料2 第2次久喜市総合振興計画 実施計画（試行版・令和4～6年度）（案） ・＜参考資料＞ 第2次久喜市総合振興計画（素案）修正箇所一覧表
石上会長	<p>ありがとうございました。ただ今、「素案」と「実施計画」について概要の説明がありました。</p> <p>ご質問、ご意見等はございますか。</p>
高田委員	<p>第2次久喜市総合振興計画の基本構想の36ページですが、お話いただいていたら申し訳ありませんが、人口の図表の2021年度が149,770人となっています。久喜市の人口データを見ると、だいたい月平均で約151,000人なのですが、そことの整合性は必要ないのでしょうか。</p>
石上会長	<p>住民基本台帳人口があると思いますけど、その数字と、36ページの数字との関係性は、ということですね。</p>
目黒課長補佐	<p>確かにご指摘の通り、住民基本台帳の人口ベースですと約151,000人と数字が出ているかと思うのですが、目標設定については令和2年（2020年）の国勢調査を基準にさせていただくということで、数字を</p>

	<p>出ささせていただいております、実際に久喜市に居住などしていただいている方の数字ということで、より正確な数字であるため国勢調査の人口を使わせていただいているのですが、国勢調査の方が住民基本台帳人口より少なく数値が出る場合がございます、その点で数字の差が出ております。</p>
高田委員	<p>これはこれで正しいという理解でよろしいでしょうか。</p>
目黒課長補佐	<p>そうでございます。</p>
石上会長	<p>2020年の150,582人というのは実績ですか。</p>
目黒課長補佐	<p>はい、国勢調査人口の実績でございます。</p>
石上会長	<p>あとは、2020年以外は推計値、国勢調査の人口をベースにした推計値ということですね。</p>
田村委員	<p>資料1の108ページについてですが、新たな産業の整備が求められているとあります。たとえば久喜と菖蒲の間に産業用地がありますけど、その用地の所有者は、売りたいけど仕方がないようです。また、この間銀行で話したのですが、1,000社ほどの物流関係の会社からの要望が来ていると聞きました。そのような状態にもかかわらず、もっと急がないと、圏央道が茨城県まで整備されたら、地価が安いので、茨城方面へ行ってしまいう感じがします。だから、これは産業基盤の整備というところで、もう少し急ぐべき問題だと思うのですが、どうですか。</p>
石上会長	<p>ありがとうございます。108ページの現状と課題の3つ目ですね。新たな産業基盤の整備が求められていますというところで、特にインターチェンジ周辺、現状非常に引き合いのある場所なので、よそにお客さんをとられないうちに、早く色々手を打ったほうがいいのではないかとというような指摘かと思います。</p>
石井建設部副部長	<p>田村委員がおっしゃるとおり、既存の工業団地は枠がいっぱいでございます。市としては、石上会長がおっしゃるように事業者からの引き合いというのは、本市の交通利便性などの関係もあって、問い合わせをたくさんいただいているところでございます。そこに市としては応えきれてないということで、この問題を提起いただいたところですが、産業基盤の整備というのは、農地を開発して工業団地を作る事業なものですから、いっぺんに急激に何か所も進めることはなかなかできないところでございます。そのような中で本市では栗橋の高柳地区で現在事業を進めており、整備を</p>

	<p>推進していき、また次ができる段階になりましたら進めていく、そのような考えでございます。</p>
田村委員	<p>5年も10年も待っていたら、需要が茨城の方に行ってしまいますよ。私は、区画整理にも関与したことがあるのですが、許認可については、県、国と交渉次第で早くなるのです。だからもう少し当局の人は一生懸命、重点的にやってもらいたいですね。</p>
石井建設部副部長	<p>圏央道が県内に整備される段階においては、久喜市としては清久工業団地を拡張する土地区画整理を行ったところでございます。そういった段階で他市町に負けないように、国・県との調整の中で今、高柳という地区が決まりましたので、それがある程度進まないとなかなか受付ができないといった状況もございますので、時期が来ましたら、間が空かないように、調整を行ってまいりたいと思います。</p>
田村委員	<p>財政力が付きますし、雇用にもなるので、急ぐべきじゃないでしょうか。</p>
石上会長	<p>ありがとうございます。そういったご意見をぜひ反映させていただきたいと思っておりますので、事務局におかれましてはよろしく申し上げます。</p> <p>ちなみに109ページのKPIの3つ目でございます、新たな流通・工業系用地面積が80ha増えるとありますが、それが先ほどおっしゃられた高柳地区ですか。</p>
石井建設部副部長	<p>高柳地区の他にも都市計画の中で産業立地を誘導できる指定地区がございまして、その面積を含めた目標値ということで、掲げさせていただいております。</p>
石上会長	<p>高柳地区のみならず、そのような用地を広げていく。令和9年度までには80haを確保するというご予定ということですか。スピード感を持って、ぜひというご要望、ご意見でございます。</p>
田村委員	<p>民間ですと、最近では、100町以上の買収がほとんどですよ。</p>
石上会長	<p>100町ですか。</p>
田村委員	<p>80haではないですよ。</p>
石上会長	<p>80haでは足りないということですか。</p>

田村委員	そうですね。
石上会長	わかりました。こういうご指摘もございましたので、この点、可能な範囲でスピード感と、それから規模と、検討の余地があるようでしたら、ぜひよろしくをお願いします。
目黒課長補佐	先ほど実施計画の中で、目玉となる事業についてご案内しましたが、産業基盤の整備等については、特に大きな事業という形になってくるかと思えますので、事業の実施ベースでも目玉となる事業ということで注力していきたい事業の一つだと考えております。その辺をご理解いただければと思います。
田村委員	急いでいただきたいです。
石上会長	実施計画の目玉・トピックとなる事業というのは、ベースは市長の公約ですか。追加しても構わないものですか。
目黒課長補佐	基本的には、市長の選挙公約ということで、特に重点的に進めてまいりたい事業ということです。いくつかあるのですが、各部でこれまで重点的に政策課題として取り組んできた、市として特に大きい事業を目玉と位置付けて、実施計画の中でも整理してまいりたいと考えております。
石上会長	ここで強いご意見があった場合はご検討いただけるということですか。
目黒課長補佐	はい。
石上会長	ありがとうございます。 今のご意見に関連、あるいは他でも構わないですが、他にありますか。
田村委員	資料2の3ページの支出の普通建設事業費が、令和6年では、大幅に上がっているのですが、それは何か大きな工事があるのですか。
川名財政部副部長	3ページの普通建設事業費の136億円についてですが、ごみ処理施設の関係が入っています。
田村委員	それは地方債で借金してつくるのですか。
川名財政部副部長	おっしゃる通りでございます。地方債と国の補助金、そういったものが、こちらの表ですと歳入のその他の部分に入っておりますけれども、地方債、国の補助金など活用して整備するというところでございます。

田村委員

国の補助金というのは、どのくらい付くのですか？

川名財政部副部長

細かい資料が手元にないので、今はお答えできません。

石上会長

可能でしたら次回お願いします。令和4年度に比べて10億ぐらい財政規模が大きくなっています。それはごみ処理施設の建設に充てられるというような説明です。

柿沼委員

将来人口についてです。資料1の37ページの合計特殊出生率の推移ですが、令和2年度が前年度の1.06から1.24となり少し安心していたのですが、よく見ると出生数は2人くらいしか増えていないですね。合計特殊出生率が上がっているように見えても出生数が変わらない。増えているだけいいのかなと私は思っているのですが、それでも2名程度ということなので、こういったデータの所には出生数と、生産年齢人口の流入を図るのであれば生産年齢人口があったほうが良いと思っています。また、高齢化率がどれくらいで推移しているのかのデータがあると、ここに載せなくても、わかりやすいデータがあると、将来人口を考える上では非常に効果的かなと思って見ていました。

もう一つ、先ほどの資料でも、外国籍の方の部分が思ったと思うのですが、外国人の人口も現在、3,000人くらいだと思います。これが今後どのように増えていくかによって、施策が変わってくるかなと思っています。また、そこに財源を付けるのかということも出てくると、市全体の人口の考え方が、外国人の方も踏まえた人口を考えていくのか、子どもたちに向けての施策も考えられるのかなど、細かいデータがあると分かりやすく、事業者にとっても何が市にとって必要かという事業を考える上でも重要なデータになるので、このような点も載せていただければと思います。市民の方にも分かりやすく、全体がどのような形になっているのか、ということが分かりやすいものになっていくと思います。

もう一つなのですが、77ページの基本目標2です。以前も話したと思うのですが、こちらの重要業績評価指標の保育所待機児童数というのは、全国的にみても都市部以外では低下しているので、目標値というのはあまり意味がないのではないかと、いうところがあり、市でも、待機児童はずっと0です。子どもの数が減っていけば推移していくものですし、ここの辺りは必要ないのかなと思います。

もう一つ、以前は気付かなかったのですが、ファミリー・サポート・センターの会員数を伸ばしていく形で書いてあるのですが、全国的にみてもファミリーサポートは縮小傾向にあります。これは社会構造の変化で、家庭の働き方の変化で、高齢の方がファミリー・サポート・センターの会員になられている方が多いのですが、リタイアされた後ご自身の第2

第3の人生を生きられる方が多く、ファミリー・サポート・センターは比較的縮小傾向にあります。子ども家庭庁が設置されたこともあり、国の子育て施策もあるので、あまりファミリー・サポート・センターの会員数を伸ばしていくことで、良いか悪いかの判断をしていくのは少し時代にそぐわないのかなと少し思います。資料が出来上がっているのであればそのままでもいいですが、見直しの時にこの辺りを、ファミリー・サポート・センターなのか、または新しい子どもの居場所や、子ども食堂、フリースクールなども必要になっています。また、市の学力にも影響してくると思うのですが、外国の方が増えてきたり、また少し経済的に苦しい家庭が増えてくれば、学習支援の場が必要となってくるので、そういった新しい子育ての施策を意識した目標値と、資料になっていくといいのかなと思っています。よろしくお願いします。

目黒課長補佐

一つ目の37ページの関係について、ご説明したいと思います。生産年齢人口や高齢化率等について、データのなものというお話ですが、こちらにつきましては、人口ビジョンでそのようなデータのものは整理している部分がございます、人口ビジョンの改訂版で人口の推移を見るにあたっての解析をしている経緯がございます。そういったものを、最終的に総合振興計画の冊子の資料として入れるかは検討させていただきたいと思えます。よろしくお願いします。

尾崎健康・子ども
未来部副部長

柿沼委員がおっしゃるように、保育所待機児童数ですが、令和3年度、4年度は、本市においては0となっています。ただ、入所保留者という方がいらっしゃいまして、現在150人程度いらっしゃいます。この方々が、厚生労働省の調査の対象から外れてしまう方でございます。この方々がいつ待機児童という統計の資料に合致するか、今は分からない状況です。年々、入所保留者という方が増えてございますので、私共としましては、現状値0というのをいかにキープしていくかが目標値になるのではと思ひまして、この様な数値を表わさせていただいています。

もう一つ、ファミリー・サポート・センターの会員数、現在883人ということでございますが、需要と供給ということでございますが、現在、市が依頼している会員の方が多い状況でして、お手伝いしたいという協力会員の方が少ない状況でございます。今、柿沼委員もファミリー・サポート・センターのアドバイザーをしていただいている先駆的な方でございますが、現在、協力会員をたくさん募集している最中でございますので、できればファミリー・サポート・センターの会員数を多くして、地域で子育てを支える環境をさらに充実させていきたいという観点から、こちらの数字をあげさせていただいております。

宮内委員

実施計画の20ページから22ページにわたります、生涯学習の関係

が載っているのですが、「生涯にわたり学び続けるための環境をつくりま
す」ということで、22ページに目玉となる事業として、市民大学、高齢
者大学の推進があがっています。現実には、市民大学40名定員で今年は1
3名。高齢者大学は150名定員で50名弱ですね。やはり受講生がいか
に少ないかということがあるので、目玉となる事業として、事業をより強
力にやっていたらかないと、市民大学、高齢者大学そのものが尻すぼみに
なってしまうような現状です。

これに続きまして生涯学習センターですね。当初は東京理科大学跡地に
設置の予定だったのですが、こちらの構想は挫折しまして、鷺宮総合支所
の5階に生涯学習施設が開設されました。また基本計画の65ページに、
「生涯学習関連の講座・教室の参加者数」というのがありますが、市大
生、高大生が少ないと、講座自体、参加者自体少なくなると思います。そ
の辺をいかに生涯学習関係といえますか、市大生、高大生を増やしてい
ただき、誰もが受けられるような形を作っていたらかないといけないと思
っています。

そして、鷺宮総合支所への交通手段がないですね。鷺宮駅あるいは東鷺
宮駅からも徒歩ですと25分から30分かかるので、実施計画の70ペー
ジにありますように、市内循環バス運行事業についても考えていただか
ないと、なかなかこの場所に、皆さんが参加できないという形が現実に起
っております。高大生も授業の半分くらいは中央公民館に残っているとい
うこともあります。目玉となる事業としてやっていくからには、人員の募
集や皆さんが通いやすいような場所でのいろんな講座などやっていただ
かないと、なかなか参加できないというようなものがありますので、その
辺のご検討よろしくお願いします。

斧田教育部副部長

ご意見いただきました通り、昨年度、鷺宮総合支所の5階に生涯学習施
設ということで整備をさせていただいております。ご指摘の通り、これ
まで中央公民館をご利用されていた学生の皆様からすると、鷺宮総合支
所は、地理的に、利便性が中央公民館に比べるとちょっと難しいという
お声をいただいていることは承知しております。そういった中で教育委員
会といたしまして、いかにして市大、高大の受講生を増やしていこう
か、知恵を絞っている最中でございます。

総合振興計画と並行して、教育振興基本計画というものを、今、総合
振興計画の分野別計画という位置づけで策定を進めている所です。その
中でこの生涯学習に関する分野も、どのように目標値等を定めて、い
かに生涯学習を盛り上げていこうかと知恵を絞っている最中ございま
す。また改めて教育振興基本計画の策定におきまして、市民の皆様にご
意見をいただく時期となっておりますので、先ほどいただきました意見
等が実際の計画の実施に合わせて盛り込んでいけるよう、教育委員
会の方で努力したいと思っております。また、交通部分につきましても、
関係部署の方と相談してまい

山中委員

りたいと思います。

実施計画の17ページの施策の方向性(6)の学校の適正規模・適正配置の件につきまして、これから数年後が変わってくるのではないかと思います。今、意見させていただきます。今、私が住んでいる地域もかなり子どもたちが減少しており、30年ほど前に分かれた学校がまた統合されてくる方向になると思っています。

また、これから新たに久喜市を選んで住む方、新しい家庭を持って住まわれる方が、5年後ぐらいに子どもが生まれて、久喜市の小学校、中学校に通う際に、やはり、5年後や10年後を考えて久喜市に家を建てると思うので、今、数年かけて統合していく方向に考えていると思うのですが、まず5年後に、より良く子どもたちが学校に通えるような施設をつくる必要があるのかなと思っています。

トピックとなる事業として、19ページの小・中学校大規模改造の事業が計画されていますが、少しずつ直すよりも、かなり老朽化が進んでいるところは統合するにあたり、予算が必要で、事業費の見込が増えてくるのではないかと思います。その辺、教育部ではどうお考えでしょうか。

斧田教育部副部長

まず、学校の適正規模・適正配置の件でございます。こちらにつきましては平成28年度に学校の適正規模・適正配置の基本方針というものを教育委員会で定めてございます。簡単に言いますと、例えば小学校で6学級、1学年1クラスということですね。6学級というのを一つの目安といたしまして、6学級になる見込みのある学校から統廃合を検討していくということで教育委員会では進めております。直近では、まず久喜地区の江面第一小学校と江面第二小学校です。こちらは、昨年度から江面小学校として新たにスタートしております。また今年度は菖蒲地区の菖蒲中学校と菖蒲南中学校が統合しまして、新たな菖蒲中学校としてスタートしております。実際に教育部の中では適正規模・適正配置の関係で、検討が進んでいるものもいくつかございます。ご存知の方もいらっしゃるかと思います。が、鷲宮地区の上内小学校が、本年度から休校という措置をとっております。上内小学校に通っていた児童さんは、今、鷲宮小学校に通われています。そういった中で、今、教育部といたしましては、鷲宮小学校、上内小学校、そして学区の中にあります鷲宮西中学校の3校を含めた形で何か検討できないかということで、義務教育学校の設立に向けた検討をスタートしてございます。市内の小・中学校は、現状ですと32校、上内小学校を除きますと31校ございますので、それら各地域、適正配置を順次検討し進めているという状況でございます。

そしてもう一点の小・中学校の大規模改造ですが、こちら学校も学校の統廃合と非常に密接した関係がございます。お金をかける以上できるだけ長く

	<p>使ってほしいというのが、様々な方面からの意見としてあるのですが、教育部といたしましては、児童生徒さんの学校環境を整えるというのが、教育部としての使命だと捉えておりますので、先程の適正規模・適正配置の検討と合わせまして、効果的に投資して、小・中学校の学校環境を整えて参りたいという考えでございます。</p>
石上会長	<p>よろしいでしょうか。</p>
山中委員	<p>はい。</p>
高橋委員	<p>実際にこの会議体が始まりました時点では、中学校部活動の地域化、地域移行が実際に決まっていなかったのですが、市としては今後の大きな課題になるのではないかと私自身も感じております。ちょうど5年後くらいには、今回の地域化に関しましては、中学校の部活動をすべて地域に移行したいという意向が、既に政府から示されているという状況ですので、土日から始まった地域移行を、これからどのように行っていくのかというところについて、非常に難しい問題だと思うのですが、まったく触れないでいいのだろうかという疑問があるので、ご説明が欲しいと思います。</p>
斧田教育部副部長	<p>今、検討を進めていただいております総合振興計画の中では、教育分野の関係が主に定められておりますのが基本計画の1-3、生涯学習の関係ですと1-4、今のご意見は主に1-3、学校教育に関わってくると思います。ご覧いただいておりますとおり、総合振興計画の方ですと、大きな概念で捉えているということもありまして、先ほどご意見いただきました部活動の地域化というものについては、今、教育委員会、指導課も含めまして検討が進められている状態です。</p> <p>こちらにつきましても総合振興計画の分野別の計画となります、教育振興基本計画の中で、細かな部分については定めていくことが計画の流れと考えております。総合振興計画には直接こういった文言が表記されなかったとしても、教育振興基本計画の中では、部活動の地域化が検討できるような部分を、設けて参りたいと思っています。</p>
石上会長	<p>そのようなことのようにです。総合振興計画はかなり大きな計画で、項目を厳選してということになります、個別的事業につきましては、令和5から9年度までの教育振興基本計画で、何らかの形で記載等されることになろうということです。</p> <p>こちらは実施計画にも載らないということでしょうか。</p>
目黒課長補佐	<p>今日お示ししております実施計画は、令和4～6年度の試行版でご案内しておりますが、実は令和3年度末時点のものを、新しいフォーマットに</p>

置き換えてお示ししております。書いてある内容が時点的には現在よりも前の内容が書いてある形になります。

今後、総合振興計画の推進にあたりましては、こちらの内容についても令和5～7年度の形に中身を見直して置き換えさせていただく予定となっております。先程ご意見をいただいたような、最近の新しい動き、社会・経済情勢の変化なども踏まえながら、実施計画に反映できるものは反映していくという形になりますので、ご理解いただければと思います。

石上会長

実施計画の方で、反映についてご検討いただくということです。その他いかがでございましょうか。

私から、非常に些末な、体裁のことなのですがよろしいですか。下に語句の説明をさせていただいている注記について、非常にわかりやすいのですが、私や高橋委員もそうでしょうか、我々のスタイルですと、通し番号にすることが多いのですが、これはページごとに番号が1からリセットされて振られていますね。どちらでもよろしいかと思いますが、こういう形の方が定番なのでしょう。

目黒課長補佐

ページごとに通し番号を振り直させていただいているのですが、一つの考えとして、基本計画の部分は、基本的な仕組みとして各施策、なるべく見開き2ページで一つの施策を盛り込んで、2ページの中で全体が見られるような形にするというような作りを留意して進めてきたためでございます。その点もございまして、各施策項目の切り替わりで番号を振り直しているという作り方をさせていただいています。

石上会長

あと一つ、77ページにKPIで合計特殊出生率が出てきますが、合計特殊出生率は非常に重要で、皆さんのご関心も高いということで、前回ご説明にあったように、国勢調査の時の数字とその他の4年間の数字で何か計算が少し違うということでした。実際、数字も国勢調査の2020年の時には1.24でかなり、0.1ポイントくらい高く出るということございまして、現状値はここでは国勢調査の年で1.24になっていますので、普段より高いのではないか、という現状値になっていますよね。目標値の達成は、なかなか難しいですから、数字の基準はそろえておいた方が、やはり目標値と現状値の関係ではよろしいのかなと思いました。他の自治体ではどうされているのでしょうか。

目黒課長補佐

37ページに、目標人口の設定の考え方ということで説明書きも入っておりますが、説明書きだけで全体をつかむのはなかなかわかりづらくて恐縮でございます。詳細につきましては、人口ビジョンで整理しておりますが、大まかに申し上げますと、出生率については、表の真ん中、5か年平均とありますように、今後、特に政策効果を見込まない、そのままの数字

<p>石上会長</p>	<p>で推移したときは、国勢調査の年だけではなく、他の年も含めた5か年の平均で、ベースを出させていただいている所でございます。会長からお話がありましたように、国勢調査の年とそうではない年で、なるべく差がないように、平準化した数値を基礎にさせていただいている形です。</p> <p>77ページにありました目標値の部分につきましては、人口ビジョンの中で2060年を目安に1.80まで引き上げていきたいというような数値設定をさせていただいていまして、その過程で令和9年度の時点ではこういう数値になるだろうと導き出してきたものとなっております。</p> <p>5か年平均の数字をとるのは、非常に合理的だと思います。そうすると、むしろ現状値は令和3年度の過去5年間の平均値にして、令和9年の目標値も、同様に令和9年を最終年度とする5年平均とするのが合理的なのかという印象もでございます。もし検討の余地があるようでしたらお願いいたします。</p>
<p>目黒課長補佐</p>	<p>わかりました。参考にさせていただきます。</p>
<p>石上会長</p>	<p>では、その他、よろしいでしょうか。無いようでしたら、議題については以上とさせていただきます。</p>

4 その他

<p>石上会長</p>	<p>次に、「4 その他」について、まずは委員の皆さんから何かございますか。</p> <p>(意見・質問なし)</p>
<p>石上会長</p>	<p>他に、事務局から何かありますか。</p>
<p>目黒課長補佐</p>	<p>それでは、今後の予定等につきまして、ご説明申し上げます。まず、会議録の関係ですが、できる限り全文記録方式に近い形で作成させていただきまして、今回の署名委員であります会長及び高田委員のご一任で、確定とさせていただきたいと思っております。</p> <p>続きまして、次回の会議の開催予定でございます。</p> <p>本日、委員の皆様にご審議いただきました、第2次総合振興計画の素案を基に、必要な修正の上、次回の審議会におきましては、答申前の最終素案としてご提示させていただく予定でございます。</p> <p>その他、ご説明の中で申し上げましたが「人口ビジョン（改訂版）」の内容についても、資料としてご用意できればと考えております。</p> <p>次回の審議会の開催予定日ですが、8月29日（月）午後2時からで予定しております。</p>

<p>石上会長</p>	<p>皆様には、改めて正式な開催通知を、なるべく早く送付させていただき ますので、ご承知おきくださいますようお願いいたします。 事務局からは、以上でございます。</p> <p>次回は8月29日、月曜日の午後2時からということでございます。そ の他、今後の予定等につきまして質問等ありますでしょうか。</p> <p>(意見・質問なし)</p>
<p>石上会長</p>	<p>それでは他に委員の皆様から何かご質問等ございますか。</p> <p>(意見・質問なし)</p> <p>無いようでしたら、以上で本日の議事は終了とし、進行を司会に戻した いと思います。</p>

5 閉会

<p>折原参事兼企画政 策課長</p>	<p>石上会長、ありがとうございました。 それでは、閉会にあたりまして、小林副会長にごあいさつを頂戴した いと思います。 小林副会長、よろしく願いいたします。</p>
<p>小林副会長</p>	<p>今日は第9回目の会議ということで、大変暑い中ご出席いただきまして 誠にありがとうございました。 計画の方もだいぶ中身も熟してきまして、本日も多くの意見を頂戴いた しました。意見につきましては、極力、事務局の方をお願いしたいと思 います。 また結びになりますが、新型コロナウイルス感染症が若年層を中心に蔓 延しております。学校によっては学級閉鎖や修学旅行、林間学校が中止と なるなどが起こっているようでございます。家庭内でも十分注意をして いただきまして、感染拡大を少しでも止めていただければと思いますので、 よろしく願いします。 以上を持ちまして第9回目の審議会を閉会とさせていただきます。本 日は大変お疲れ様でした。</p>
<p>折原参事兼企画政 策課長</p>	<p>小林副会長、ありがとうございました。 以上をもちまして、第9回久喜市総合振興計画審議会を終了させて いただきます。本日はありがとうございました。</p>

会議のてん末・概要に相違ないことを証明するためにここに署名する。

令和4年8月18日

会 長 石上 泰州

委 員 高田 康二